

SLOPE

前橋市で〈ちょうどよく暮らす〉

ライフスタイルマガジン

【スロウプ】

スローに進む、まえばし時間。



SLOPE

【スロウプ】

INDEX

04 〈赤城山のsusonoで暮らす〉①
とんとん広場・林さんの休日

前橋ってこんなところ

06 前橋 CITY GUIDE

この土地に培われてきた、あたりまえのスロー。

08 「スローシティ」を知っていますか？

10 〈赤城山のsusonoで暮らす〉②
すぎな農園・竹渕さんの農地移転

12 〈赤城山のsusonoで暮らす〉③
自然豊かな環境で犬たちと過ごす日々

14 移住は簡単に決められない！
前橋移住コンシェルジュに聞いてみよう

人との出会い・街の魅力

16 前橋の魅力を教えて！ 前橋市の地域性

18 〈赤城山のsusonoで暮らす〉④
チョコレートでひろがる無限の宇宙

20 まちづくりにコミットする新世代
空き家活用から生まれる新たな交流の場

22 働きやすさと、快適な暮らし。
「テレワーク」+「空き家バンク」で移住！

家族の暮らし・次の世代のために

24 〈赤城山のsusonoで暮らす〉⑤
島田さん一家の横断的ライフスタイル

26 家族で移住 前橋は子育てしやすい街

28 LET'S LEARN 上州弁

29 赤城南麓の味がする。「赤城の恵」

30 移住へのステップ・相談窓口



街と自然が共に育んできた
ゆるやかな緑のスロープ



前橋の街を見守るかのように、静かに佇む赤城山。富士山に次いで長いという、その雄大な裾野に培われた、豊かな自然と人々の暮らし……。この街に流れる時間は、どこかおおらかで、ゆったりとしているように感じます。

市の西部を流れる利根川をはじめとする豊かな水系は、農業や近代に栄えた生糸産業を支えてきました。自然と人の営みとが常に密接に関わってきたからこそ、この街にはどこか安心できる心地よさがあるのかもしれない。

これからの暮らしを真剣に考える人に、ここはきっと「ちょうどいい」街。この街へ来て、ただ空気を吸いこめば、想像以上にそのことがわかるでしょう。



NPO法人 まえばし農学舎

「伝えたいことがある。本物に触れる特別な体験。」をコンセプトに、赤城南麓で活動する農家や職人が中心となって運営するNPO。農業体験を通して子どもたちの感性を育む「あかぎキッズファーム」や、赤城山の自然や食を楽しむ「ファーマーミングキャンプ」など、「農と食」を中心にした赤城山ならではの体験を提供する。「農業の大変さだけではなく、収穫の喜びや働くかっこいい姿も教えてあげたい」と林さん。

群馬県前橋市三夜沢町 534 とんとん広場内 Tel. 027-283-2983 (とんとん広場) maebashi-ngs.com



赤城南麓にある、60年の歴史を持つ釣り堀。釣った魚はその場で炭焼きやから揚げにして食べることができる。



林智浩さん

林智浩さん

大切なのは、ゆるく長く、持続できること

晴れている日、前橋の街からは広くて爽快な青空にくっきりと赤城山が見える。その麓、自然豊かで農業や観光業が盛んな赤城南麓エリアで、手作りハム工房・レストラン〈林牧場福豚の里とんとん広場〉を営む林智浩さん。取材場所を選んだのは、林さんが季節に一度は訪れるという釣り堀。ここから林さんの仕事場までは車で5分ほど。秋に入り、ちょっぴり冷たそうな水の中を、マスやイワナが元気に泳いでいた。

社会人3年目のある時、ふと“地元へ帰ろう”と

「25歳くらいの時は、まだ東京で会社員でした。実家が商売をやっていて、それを手伝うのが嫌でこの街を出たわけですが、社会人3年目のある時、ふと“地元へ帰ろう”って思ったんです」
アウトドア好きの林さんは、平日は東京で満員電車で揺られ、休日になると山に出掛ける生活を送っていた。都会へ出て、生活と自然との距離が近い故郷の良さを再認識しようだ。

「自分で商売をやりたいという気持ちは昔からありました。子どもの頃に見ていた、祖父母がたくましく働く姿が妙に記憶に残っていて、僕もそれに負けないくらい強い思いを持って仕事をしたいと思っていたので、Uターンを決めると同時に、家業も継ぐことを決めました」

赤城南麓から世界一の生ハムを

「赤城南麓を生ハムの産地にしたい。そして、主力である骨付きの生ハムを武器に、世界一の生ハムを宣言したい。ハムの味は、その土地にしかない固有のバクテリアや乳酸菌のバランスで決まってくるので、同じレシピで作ったとしても土地によって味が変わる。このハムの味は、ここだけの味なんです。まずは僕たちの持っている生ハム作りのノウハウをしっかり確立させたい。そして、他の養豚農家から豚肉を預かって生ハムに加工したり、希望する方々にノウハウを伝えていくことで、生ハム文化を赤城南麓に広めていきたい。地元を一番大事にしつつ、世界一を掲げるうえでは、銀座やニューヨークへの出店も、しないといけませんね(笑)」

自然となじむように、調和するように

取材中、笑顔や冗談を欠かさない林さんだが、自らの会社はもちろん、地域の事業にも積極的に関わり、考えなければいけないことや悩み事も多い。「落ち込んだり、悩んだり日は日常茶飯事。そんなときには一人で赤城山に登ります。山でご飯を食べたり、本を読んだり、お酒を飲んだり。仕事後に登って夜を明かすこともあれば、早朝に登ってから仕事に行くこともありますよ」

ハム工房の仕事にとどまらず、仲間たちとNPO法人まえばし農学舎を立ち上げ、食育、農業体験、キャンプ等の自然体験を提供するなど、地域で精力的に活動する林さん。その根底にはどんな想いがあるのだろうか。

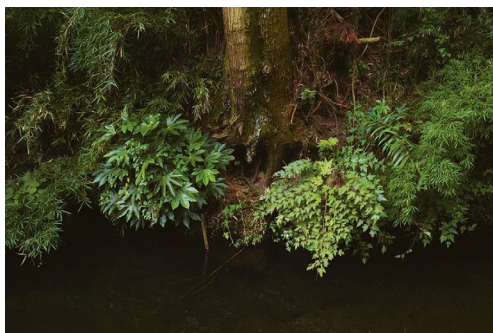
「前橋に戻ってきてから大きな出来事が二つありました。一つ目は、子どもの一人が難聴で生まれてきたこと。子どものために、何かが起こった時に助け合えるような関係を周囲と作らないとまずいかなと思って。自分が困った時に助けてっというだけじゃ、誰も助けてくれない。困っている人がいたら進んで助ける。こういうことは、子どもが生まれてからはかなり意識するようになりました。」

二つ目は、会社でハム職人の仕事を見て自分も技術を身に付けたいと思い、ドイツのハム工房へ修行に行ったこと。日本の食肉文化は江戸後期に始まったもので、まだ歴史が浅い。それを日本の文化として根付かせていくために、長年培われてきた外国の文化や技術を学び続ける必要があります。そして、商品や料理もただ作るのではなく、ギフトのように想いを込めて作ることが大事だと学びました」

修行のため、ドイツを皮切りに、イタリア、スペイン、スロバキア、ハンガリー、フランスなど多くの国々のハム工房を巡ったという。

林さんが人生の多くの時間を過ごす赤城南麓エリアが平成29年5月、スローシティとして認定された。宮城県気仙沼市に続き、日本国内では2例目となる。

「意識しなくてもずっと続けていられることが、スローシティに大切なことなんだと思います。ゆるく長く持続できるところ。僕にとってのスローはやっぱりソロキャンプですね。すぐ近くに山や自然のある環境だから、思い立ったときすぐに山へ登れる。それから最近では、道路沿いにあるお店のロードサインを少しずつ小さくしているんですよ。人工的なものが道に飛び出している状況って、改めて考えるとやっぱり良くない。自然となじむように、調和するようにするべきだと思います。だって、赤城山の一番いいところは“自然”なんだから」



都会の釣り堀とは違い、林や小川などの自然に囲まれた環境もこの土地ならではの。多忙な林さんにとっていいリフレッシュの場となっているようだ。

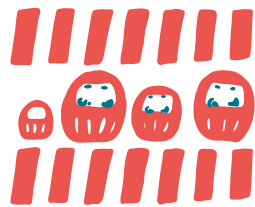
CITY GUIDE

前橋

4大イベント

1月

初市まつり



7月

七夕まつり



8月

花火大会



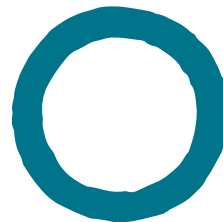
10月

前橋まつり



FESTIVAL

シンボル



市章

旧松平藩の馬印(輪貫)をもとにしたデザイン

めぶく。

前橋市が街づくりにおいて掲げるビジョン
前橋ではワクワクの種がどんどんめぶいている

赤城山

広大な裾野を持つ
赤城山は日常の
景色の一部

SYMBOL

ここがすごいぞ！
前橋じまん

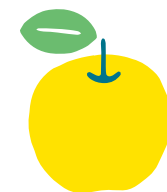
救急搬送

前橋市の救急搬送は県内
や全国の平均より短時間で
現場に到着

焼きまんじゅう

ふわふわのまんじゅうに甘
辛い濃厚な味噌だれを
塗って焼く、前橋市民のソ
ウルフード

るなばあく

昭和29年開園の歴史ある遊
園地。10円で乗れる木馬は日
本一古く、国の登録有形文化
財に指定されている

大島梨

江戸時代からの長い
歴史を持つ前橋市の
特産品

FEATURE

前橋が目指すまち

「豊かさ」を
育むまち

スローシティ

地域の食や農産物、生活、歴史文化、
自然環境を大切に、個性や多様性
を尊重して、まちの「豊かさ」を培っ
ていくことを目指すまちづくり「未来」の形を
作るまち

スマートシティ

医療や交通、教育、行政手続きなど、
生活全般にまたがる分野で、AIなど
を活用した最先端のサービスで、便
利で暮らしやすい未来のまちを目
指す取り組みこどもの笑顔が
あふれるまち

こどもまんなか

すべてのこどもが自分らしく、笑顔
で成長できる環境や社会を整える
ことで、市全体の持続的な発展と幸
福を目指すまちづくり

VISION

前橋ってこんなところ

前橋市は関東平野の北西端に位置し、日本百名山に
名を連ねる赤城山や利根川などの豊かな自然に囲ま
れた地域です。古くは古墳時代から人々がこの地で
暮らした痕跡があり、かつては前橋城（厩橋城）を
中心とした城下町として、また江戸中期から明治時
代にかけては横浜開港にとまない生糸産業によって
栄えました。詩人・萩原朔太郎の故郷としても知ら
れ、暮らしの中に文化の息づく街です。

1

赤城南麓・スローシティエリア

豊かな自然の中でハイキングや
キャンプなどのアウトドアが楽し
める。山麓エリアは畜産や農業が
盛んな地域。

2

中心市街地・
新前橋エリアJR 前橋駅や群馬県庁を含む中
心市街地にはオフィスや商店、
文化施設などが立ち並ぶ。
利根川を挟んだ西側には
JR 新前橋駅がある。

3

南部エリア

北関東自動車道・前橋南 IC 付近に
ショッピングモールなどの大型商業
施設が集中し、新興住宅地が発展す
る地域。

4

東部エリア

のどかな田園風景や住宅街が広がる
エリア。JR 両毛線と並んで上毛電
気鉄道が前橋・桐生間を繋いでいる。

前橋市の情報 | CITY DATA



総人口

329,120人

※令和6年12月末現在



面積

311.59km²

人口密度

1,056人/km²

日照時間

2167.5時間

※東京：1949.3時間



この土地に培われてきた、あたりまえのスロー。

「スローシティ」を 知っていますか？

「スローフード」「スローライフ」なら知っているけど、「スローシティ」って？と思う方も多いかもしれません。「ファーストフード」に対抗して、地域の伝統的な食文化を見直そうとイタリアで起こったスローフード、さらに生活全般に目を向けたスローライフ運動は今や世界的に広がっています。スローシティもそこから発展し、地域の食や農産物、歴史文化、自然環境を大切にしたい持続可能なまちづくりを提唱するものです。

前橋市はスローシティの精神に賛同し、平成29年5月12日に前橋・赤城地域（芳賀・大胡・宮城・粕川・富士見地域の一部）のスローシティ国際連盟への加盟が認められました。日本では宮城県仙沼市に次いで2番目の加盟です。

前橋市の何が 「スロー」なの？

赤城山の裾野に広がる自然風土は、古来よりこの土地に住む人々に豊かな恵をもたらしてきました。スローシティにあたる赤城南麓エリアは、伝統野菜・果物の栽培に取り組む農業や畜産が盛んな地域。田園や点在する古民家も風景の一部として残したい地域の貴重な財産です。

赤城山には、ハイキングやキャンプなど、アウトドアを楽しむために年間を通して多くの人が訪れます。山頂にある大沼はワカサギ釣りの人気スポット。夏場はボートで、全面結氷する冬場には氷上穴釣りを楽しめます。また、南麓地域には数軒の温泉宿があり、山菜や川魚料理を提供しています。この地域の温泉の歴史は古く、江戸時代から湯治客に利用されていたという文献が残っています。

伝統を受け継ぎ 次の世代へ

宮城地区にある国指定重要文化財「阿久沢家住宅」をはじめとする文化財、粕川地区・月田近戸神社の獅子舞「月田のささら」、大胡地区の「大胡祇園まつり」の暴れ獅子など多くの伝統行事も地域住民によって受け継がれています。

前橋市はスローシティの考え方の下、この土地が育んできた「スロー」な暮らし、自然や歴史文化、伝統の素晴らしさを再評価し、新たな価値を育みながら、豊かで幸せに暮らすことのできるまちづくりを目指しています。

スローなまちづくり全国推進委員会 <https://slowfriendsjapan.com/>

日本国内におけるスローシティネットワークである「スローなまちづくり全国推進委員会」は、地域の食や農産物、生活・歴史文化・自然環境の多様性と個性を尊重したまちづくりを目指す〈スローシティ〉運動を都市政策の大切な理念として捉え、チッタスロー国際連盟への加盟支援、国内のスローシティ都市の連携促進、スローシティ運動の実践と普及啓発を目指す任意団体です。



「スローシティ」とは？

前橋市の友好都市イタリア・オルビエーロ市などを発祥とする、ヨーロッパを中心に33か国303都市（令和7年2月現在）が加盟する国際的な運動。地域の食や農産物、生活、歴史文化、自然環境を大切に、個性や多様性を尊重する新たなまちづくりを目指す。

※「チッタスロー」が正式名称ですが、前橋市では原則として「スローシティ」を用いています。



榛名山から赤城山へ、 200羽の鶏とお引越し。



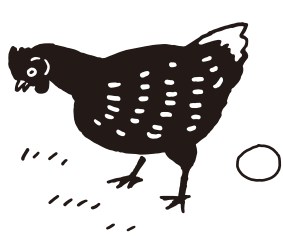
すぎな農園
竹渕進さん 智子さん

今回取材したのは、養鶏業を中心とした兼業農家の竹渕夫妻。群馬県出身の夫・進さんは、妻の智子さんとともに、都内から旧倉渕村（現・高崎市倉渕町）へ移住し農業を営んだのち、平成29年に前橋へやってきた。まずは、赤城山の南麓に位置する富士見町に畑と田んぼを借りて農業を始めたという竹渕さん。4年ほど倉渕と前橋を行き来する生活をしたのちに、前橋で新たに鶏舎を作り、200羽にもなる鶏や雛たちを運んできたという。

進「私たちが営むのは、養鶏場を中心とする〈すぎな農園〉という農場です。鶏舎は平飼いなので、床は土。その上で鶏たちが自由に動き回っています。のびのびストレスなく過ごしてもらうことで、おいしい卵を産んでもらえるんです。それと、自前でブレンドしている餌を与えるのも大切なこと。一般的な飼料はどうもろこしを主体にしていますが、それを一切使わずに国産のお米や麦で作っています。それゆえ、レモンイエローのような自然な色合いの黄身がでかがあります。卵独特の臭みが弱くあっさりとした風味だからか、子どもたちには特に人気ですね」

まちも、標高も、農業も変わった

進「倉渕と比べると標高が半分ほど低くなりました。倉渕は標高600m以上だったので、農作物を作る環境としては非常



すぎな農園を手伝う丸山さん（写真右）も、田舎の環境や野菜作りに憧れて東京から移住してきた。写真やデザインの特技を生かして仕事をしながら野菜や米作りに動んでいる。

に大きな変化ですね。標高の高い倉渕では、冬になると気温が氷点下10度くらいまで下がってしまうこともあるので、野菜が冬を越せない状況でした。また沢水がとても冷たいので、お米が生育しづらくて。それが富士見町では秋に蒔いた野菜、例えばニンジン、ブロッコリー、キャベツなんかは冬越しして春まで食べられるんですよ。反面、暑いのが苦手な鶏には、前橋の猛暑はかなり辛いでしょうね。暑すぎると産卵する卵の数が目に見えて落ちてしまいます。それはちょっと大変なところかも」

智子「私は東京都出身なので、前橋は空間が広いのがいいですね。空も広いし。ただ、大都市に比べると交通が不便ですよ。東京にいる時は自分が車の免許を取るなんて思いもしなかったのに、車がないとどこにも行けないので、中之条町の町営の教習所へ通いました。都内にいる頃は編集の仕事をしていて一夜漬けタイプだった私にとって、やるべきことをその時やらないといけない農業に慣れるのには時間がかかりました（笑）」

移住は自力と他力で

進「移住の際は、空いてる畑を探しては近隣の人に聞いて回ったり、市の農業委員会に直接聞いて交渉しました。実際に移り住んで農業を始めたら、周りの人が声を掛けてくれるようになりました。移住コンシェルジュの鈴木さんもその一人。移住や地域生活のサポートをしていると

いうことで、鶏舎を立てる土地はありませんかと相談に行きました。彼は本当にフットワークが軽くて、『今から農家さんのところへ一緒に行きましょう！』と言われ、勢いのままその農家へ向かったんです。そうしたらその農家さんが『会合で鶏舎の土地のことを話題に出してあげるよ』と。おかげですぐに土地が見つかり、鶏舎を建てることができました」

智子「その後、私たちの住む家も見つけられました。富士見町に住んでいた友人の勧めで、空き家に半年くらい仮住まいさせてもらっていた頃、犬の散歩の途中で良さそうな空き家を見つけて、近隣の人に所有者を紹介してもらいました。昭和47年頃に建った、ザ・昭和という感じの落ち着いた家なんです」

頼もしい仲間の力を借りて 〈ノマド市〉再開

進「鈴木さんとは、彼らが〈IRORI場〉（※）というコミュニティ・スペースを始めるということで、そこで再会しました。以前は前橋の中心市街地で定期的に実施していた〈ノマド市〉というマルシェを、IRORI場の庭を活用して再開することにしました。まちなかで開いていた頃は出店者がなかなか集まらなかったのですが、農家だけでなくキッチンカーやクラフト系のブースなど、初回から20店もの出店規模になりました。鈴木さんの強力なネットワークのおかげです。

もうひとつ、ここで実現したいことがあるんですよ。それは、農業体験や暮らしの体験。農業だけではなく、田舎の暮らしも含めて感じてもらえたらと。名付けて〈のらたまの庭〉」

智子「お客さんというより、一緒にやりましょうというスタンスです。都会にいる人って、土に触れていなかったりとか、その感覚がわからなかったりすると思うんです。群馬の方が生活しやすいね、地方で暮らすのもいいね、って感じてくれる人を増やしたいです」

※お試し移住の場などで活用され、令和3年3月を以て終了





「全速力で走ることが犬には大事」と松岡さん。リードに頼いでの散歩だけでなく犬にはストレスになってしまうのだとか。ゴールデンレトリバーの〈ザック〉とフレンチブルドッグの〈プリム〉は移住後に家族の一員に。



二人と一緒に東京から移住してきた看板犬の〈ボボ〉。広々としたスペースで走り回れるようになり「ここに来てからすごいムキムキになりました」と大沢さん。

も大きいはず。移住して1年、暮らしはどう変わったのだろう。

人混みから解放され、ご近所さんの優しさに触れる

松岡「来る前から、東京はもう嫌だね、という話をしていて。人が多いのがとにかく苦手で。前橋は住みやすいです。移住して最初の2、3か月は僕は世界の名犬牧場^{※1}、大沢はベットショップでアルバイトをしていました。東京では車を持ってなくて、毎日の電車通勤も嫌だなあと思っていたのですが、車が使えるようになったって通勤がとても楽になりました。こっちに来て困ったことは……」

大沢「冬の寒さと、夏の暑さ(笑)」

松岡「引越してきたはいいんですけど、エアコンがなくて(笑)。ストーブもない。開業前でお金もなくて、しばらく我慢していました。でも隣に住んでいるおばあちゃんや大家さんも後ろに住んでいる方もすごく親切な方で、本当によく面倒を見てくれて。引越してきて一日目に近所さんに挨拶回りに行ったんですけど、両手いっぱいたくさん野菜をもらっちゃって、まだガスも通ってなくて『どうしよう……』ってなって(笑)。ちっちゃいカセットコンロで料理しました」

大沢「鍋したね」

松岡「可愛がってもらってます。もう感覚的には自分たちのおじいちゃん、おばあちゃんですね」

赤城山の susono で暮らす

3



犬のしつけ専門 ぼぼハウス
さいそう
松岡宰相さん 大沢真衣香さん

自然に囲まれ、広々とした
環境で犬たちと過ごす日々

※2 区画ごとに様々な犬種の犬と触れ合うことができ、広大なドッグラン、ベットのホテルなどを有する前橋市内の施設。

**犬とお客さん同士が交流する
アットホームな場所づくり**

SNSでの宣伝などが功を奏し、トレーニングのために群馬県内だけでなく東京や神奈川、長野から飼い犬を預けに来るお客さんもいる。1日預けている間に群馬観光を楽しむお客さんも多いのだとか。

松岡「ここに来た子は全頭覚えています。すぐに良くなって卒業ですっていう子もいれば、ここが好きで通っているという飼い主の方も。あとはうちで飼っているニホンスピッツの〈ボボ〉を好きな方がいて、『今日触れますか?』って。アイドル犬ですね」

大沢「お客さん同士で遊びに行ったりもしてるね」

松岡「ここで出会った方みんなでコミュニケーションの場を作りましょうっていうイベントを一回やったんですけど、そこで知り合った方が一緒にドッグランに行ったり、お出かけしたりっていうのは、見てて嬉しいですね」

大沢「お迎えの時に他のワンちゃんを見て『あ、あの子がいる』って、他のワンちゃんのこともしっかり知っていたり」

松岡「今日は遊んでくれてありがとうね」って。本当に家族みたいなんです。

そういう風にしていきかったんですよ。アットホームな感じで、気軽に来てねという場所」

まるで幼稚園や保育園に子どもを送り迎えする親同士のよう、犬を介して飼い主同士のコミュニケーションも広がっているようだ。そんな二人のプライベートの楽しみは?

松岡「今のところほとんど時間が取れないですね。お休みの日は疲れてなければコストコや温泉に『行けたら行こうか?』という感じで。それ以外の趣味とかは……?」

大沢「庭でよく犬と踊ってます」

松岡「結局、犬(笑)。ホームセンターに行っても絶対ベットのコーナーに行くし。趣味は犬ですね(笑)」



赤城山の南麓「スローシティ」エリアに含まれる富士見町。中心市街地から山頂に向かって延びる坂道の途中に、車道を跨いでそびえ立つ真つ赤な大鳥居がある。市のシンボルでもある赤城山のまさに入り口とも言える地点だ。周辺には住宅地と田畑が広がるのどかな地域で、山頂付近から流れる赤城白川や自然豊かな公園も近い。

東京で出会い、ドッグトレーナーとしての経験を互いに積んできた大沢真衣香さんと松岡宰相さんがこの地に移住してきたのは2022年1月。大沢さんは千葉県、松岡さんは愛知県の出身。どんな縁があってこの土地を選んだのだろう。二人が経営する〈犬のしつけ専門 ぼぼハウス〉を訪れて移住の経緯を聞くと、意外なエピソードが返ってきた。

松岡「前橋には縁もゆかりも……ないですね(笑)。東京にいたときに同棲を始めたんですが、大沢が憧れていたドッグダンス^{※1}の世界チャンピオンの方が群馬にいて。自分たちも群馬に引越してお店をやりたいという、彼女の熱い希望がきっかけでした」

※1 人と犬がペアになって音楽のリズムに合わせて踊り、技や美しさを競い合うスポーツ。

ノリと勢いで決めた移住

松岡「移住の相談をした知り合いから『いい人紹介するよ』って言われて、紹介されたのが(移住コンシェルジュの)鈴木さんでした。最初はZoomでお話したんですが、画面に映った鈴木さんの姿がすごく印象的で」

大沢「群馬の仙人かと思った(笑)」

松岡「Zoomが終わった後に二人でニコニコが止まらなかったです」

大沢「鈴木さんは最初から頼もしかったです。最初の相談が2021年の10月頃で、その後11月にはもう動き出して」

松岡「鈴木さんから、一回前橋に来て話をしようと言われて、11月に前橋へ来て一軒目に紹介された今の住まいを外から見たときに、インスピレーションというか、直感というか、『ここで』と。中も見えないし家賃も聞かずに。もう引越してから(大沢が)全部勢いで、勝手に始めちゃうんですよ(笑)。住むことを決めたっていつても自分たちの中で決めていただけなのに、もう引越し屋さんに頼んじゃって」

大沢「(笑)」

松岡「もうこの日に引越すってなったちゃんたんです」って鈴木さんに連絡したら、『どういうこと?』って驚かれて(笑)。『まだ賃貸契約もしてないぞ!』って言われちゃって。そこから急遽、全部バーツと手続きをしてもらって」

二人が決めた場所は敷地面積の広い一戸建ての民家。裏庭にはドッグランに十分なスペースがある。なかなかの決断力と行動力に驚くが、それまでの東京での生活と比べて利便性などの面でギャップ

移住は簡単に 決められない！

前橋移住コンシェルジュに聞いてみよう

知らない土地へ居を移すことは誰にとっても不安なものです。前橋市では、移住を検討する方のそんな不安を解消するために様々な取り組みを行っています。皆さんの移住をサポートする前橋移住コンシェルジュはその代表的な存在です。



前橋移住
コンシェルジュ
相談窓口は
P31へ

車はやっぱり
必要だね？

都会と違って
不便じゃない？

子どもを育てるのに
いい環境？

地域の人とうまく
やっていける？



私に何でも
聞いてください！

前橋移住 コンシェルジュ

鈴木正知（すずき・まさとも）

東京都町田市出身。上野動物園や葛西臨海水族園の飼育員、長野県戸隠イースタンキャンプ場管理人 インタープリター担当などを経て、平成18年に前橋市へ移住。市内23の行政区を集めて地域活動の情報共有をする「前橋地域づくり連絡会」や「前橋の地域若者会議」を立ち上げて以来、前橋市の地域づくりに携わる。平成27年より、前橋市の移住コンシェルジュに就任。

前橋の魅力を
教えてください！



前橋の良さは、実際に暮らさないとなかなか見えてこない部分もありますが、中心市街地であるまちなかやその周辺での「まち暮らし」、里山での「里暮らし」、赤城山での「山暮らし」から自分のライフスタイルに合った場所を選び、「あなたの思うままの暮らしが実現できるまち」なのではないかと思っています。

実際、これまで前橋を案内した方々も、「前橋って意外と都会」「病院が多いね」「子育てしやすいような環境がそろっているなあ」「こだわったお店があつていいね」「市街地から車で10分で、ホテルが棲む里山があるなんてなんか不思議」「赤城山の南面に来ると、まちの夜景がすごくキレイ」など、それぞれの感性に合った前橋の良さを見つけているようです。

Q2

前橋の
まちなかつて
どんな感じですか？



前橋市の中心市街地は、JR前橋駅と群馬県庁を結ぶ約2キロのちょうど中間にあります。「中心市街地は駅前でしょ？」と思うかもしれませんが、そうじゃないのが前橋なんです。かつて生糸で栄えた時代に、貨車で生糸を横浜まで運ぶために、汽車の煙で「糸が汚れないように」の配慮もあったとか？

生活からシルク文化が薄らいだまちなかにも、様々な形の市民活動が見受けられるのは、嬉しい限りです。今だからできることもたくさんある「まえばし暮らし」。かつて栄えていた時代を知っていて、「昔はよかった」と話す商店主や住人も多い一方、その暮らしぶりや好景気を想像すらできない世代や移住組は、違うところからまちの魅力を感じています。その魅力とポテンシャルが、若者たちを惹きつけ始めているのではないのでしょうか。

Q3

前橋暮らしの
おすすめの
楽しみ方は？



「裾野は長し赤城山」。上毛かるたのひとつ札にもあるように、とっても長いす野を持つ赤城山。その山頂から南面を一気に下ると、関東平野の始まりの地・前橋の市街地が現れる。この、山と市街地との距離感が前橋の特徴なんです。例えば、2月のある日のJR前橋駅周辺の気温は6度。それが百名山の一つ赤城山黒檜山では氷点下12度！当然、山頂の大沼は全面結氷。氷厚30センチですよ。そんな中でも、ワカサギの穴釣りで大沼は大賑わい。都心から100キロ圏内、市中心部から車で30分も走ればこんな体験ができるのです。なんて素敵なことでしょう。

それと、日本一小さいスキー場もこの山に。家族にピッタリ！パウダースノーで滑り心地がいい！うちの子どもたちも小さい頃になっぶり遊ばせてもらいました。

Q4

実際に移住して
地域の人とうまく
やっていけるでしょうか？



実は移住って、自分が思う理想の場所にただ住むだけじゃない。そこで暮らす人たちが暮らしの中で、時間をかけて育てて来た文化そのものに触れ、加わることもあるんです。まずは、自分の理想から一步一步引いてでも、周囲の人たちと寄り添って地域を知り、文化を共有しようとする。そんな姿勢があるだけでも、後の暮らしが大きく変わってくるように思います。

「都心の便利な生活から離れてまで郊外に移住して、何をしたいの？」移住相談の場面で僕が必ず聞くことです。色々な考えを聞くけど、まず足を運んで、実際に見て、感じて、経験してほしい。

移住を支えてくれる人との縁を見つけて、地域へ入って行く覚悟も出来たら、あとは移住するだけ。自分を信じて憧れの地に飛び込んでみましょう。もちろん、困った時は移住コンシェルジュに相談してくださいね。



前橋の街の魅力を教えて！

前橋市の地域性

← 前橋の中心市街地には近年、個性的なお店や場所が増えてきました。次のページからは、街で働き、街で暮らす人たちのライフスタイルをご紹介します。

Part 2 データで見る前橋

Theme 前橋の暮らしやすさ

物価が安い

物価水準 **2** 位

令和5年 総務省統計局
小売物価統計調査(構造編)結果

土地が安い

都道府県庁所在地の
最高路線価ランキング

土地が安い **2** 位

国税庁令和5年分都道府県庁
所在地の最高路線価



子育て
応援！

待機
児童数

0 人

中核市の行政水準に
関する調べ(令和3年度)
※入所の希望が通るとは限りません

高校生世代まで
子どもの医療費

0 円

第3子以後
の保育料

0 円

医療環境

人口10万人あたりの医師数
(令和4年)

医師数 **7** 位

医師・歯科医師・薬剤師統計
※中核市62市を対象とした令和4年実施

先進医療件数

先進医療 **1** 位

群馬大学病院の先進医療件数
(国立大学病院中)/前橋市調べ

観光地に近い
前橋市中心市街地から
車での移動時間

赤城山: **30分**
伊香保温泉: **30分**
富岡製糸場: **35分**
軽井沢: **1時間**
東京: **1.5時間**

公園が多い

公園の数

431 箇所

令和6年3月末時点

▶ **Comment** 土地や物価の安さは暮らしやすさの大きなポイント。医療環境が充実していることや、子育て世帯を応援する施策に力を入れていることも安心につながりますね。街と自然との距離感が近いので、休日には車でアウトドアや観光を気軽に楽しむ人が多いようです。



Voice!

このまちに戻ってきてから、
まちなかの面白い人とどんどん繋がって
今ではすごく大好きになりました。

小林愛花さん → P.18



前橋ってどんな人が住んでるの？

街で暮らすみなさんに聞いてみた。

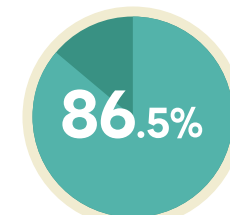
Part 1 データで見る前橋

Theme 市民の人柄分析

市民アンケート結果

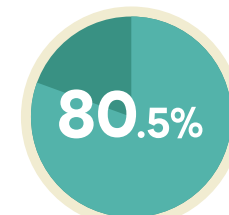
※2022年11・12月実施

Q.1 前橋市は住みやすいですか？



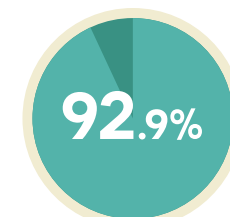
A
・住みやすい
・どちらかといえば
住みやすい

Q.2 街で暮らす人の役に立ちたいですか？



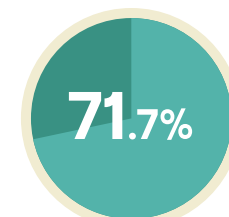
A
・そう思う
・どちらかといえば
そう思う

Q.3 前橋市という街が好きですか？



A
・好き
・どちらかといえば
好き

Q.4 現在の生活を幸せだと感じますか？



A
・感じる
・どちらかといえば
感じる

▶ **Comment** 市内出身者の地元愛が強いことに加え、移住者にとっても前橋は住み心地よく愛着の湧く場所のようです。また Q2 のように、街のために何かしたい、他人の役に立ちたいというタイプの人が多いところも前橋の市民性なのかもしれません。

チョコレートで ひろがる 無限の宇宙

Aika Chocolat

小林愛花さん



前橋市の中心市街地には9つの商店街がある。その中で最も長く、300メートルを超える屋根を備えたアーケードの通りが、市の中心部を南北に貫く中央通り商店街だ。一度はかつての賑わいが消え「シャッター通り」と揶揄されたものの、近年になって人気雑貨店や個性的な飲食店などのオープンが相次ぎ、この場所ですぐ新しいことを始めようとする若者たちが増えている。独自のレシピで視覚的にも楽しめる宝石のようなチョコレート作りを追求する小林愛花さんもその一人。小林さんがチョコレート工房を構えるのはシェアオフィスの「c.o.m.m」や、雑貨店「手紙舎 前橋店」があるビルの4階。その隣にある「ラフコーヒー」で街の人たちが憩うなか話を聞いた。

「今では前橋がすごく大好きになっているんですけど、もともとは嫌いだっただんです。自分にとって狭い世界だと思っていて、早く出たいという気持ちが大きかったんです。それが、このまちに戻ってきてから、チョコレートの活動を通して、まちなかの面白い人とどんどん繋がっていったりして。私の人生の中で前橋を好きになる日が来ると思わなかったの、自分でもびっくりしています」

高校を卒業してからの15年ほどを東京で過ごし、これまで前橋に住むつもりはなかったという小林さん。入社10年目に会社を辞め、3ヶ月の世界一周チョコレートの旅に出かけた。旅を終えて前橋の

実家に戻った後は、また東京に引っ越そうと考えていた。しかし、ここ「ラフコーヒー」での様々な人との出会いで事態は急展開。前橋にチョコレート工房を構えることに。

「母にも手伝わってもらっているんですけど、2人がや々と動けるくらいの工房なんです。今年（2023年）の2月にチョコレートブランドを立ち上げるためにクラウドファンディングを行いました。そこで3日間で半年分の予約が入って、ちよつと一人だとうしろもうもない状況になってしまつて。市役所の方に工房の場所の相談をした時、（c.o.m.mの）オーナーの橋本さんがちょうどいらっしゃったんです。その流れでカフェでお話を聞いてくれて、その場で工房の場所が決まりました。しかも同じビル内に手紙舎さんがオープンする直前だったので、その工事と同じタイミングで施工できるということになり、もう本当にトントン拍子に進みました」

多忙な東京での生活と訪れた人生の転機

意外にも、もともと特別チョコレートに思い入れがあったわけではないという小林さん。東京で働いていた頃、職場環境などが原因で心身ともに疲れてしまった時に、たまたまテレビで見たあるドラマがチョコレート作りに興味を持つきっかけになったのだとか。



び方がきれいなので鏡の表面のように光の全反射が起きているんです。分子がきれいに並んでいないと光の乱反射が起きて白く濁って見えちゃうんです。一般的なバターって温度に比例して少しずつ溶けていくんです。でもチョコレートの 카카오バターってある温度まではずつと個体なんですけど、口の中の温度帯になった瞬間にバーツと溶けるんです。もう人が食べるために生まれてきたような特性を持っているんですね。

そうやって掘れば掘るほど、本当に身近な、100円で買えるものなのにすごい世界が広がっていて、どんなのめり込んでいって、気づいたら休暇にベトナムのカカオ農園に見学に行くようになっていました（笑）

チョコレートで前橋から宇宙へ!?

もともと学んでいた物理学や宇宙への興味とチョコレートが思わぬところで、それも分子レベルで結びついてしまうと驚きだ。今後はどんな展開を考えているのだろうか。

「今はオンライン限定で販売しているんですが、今後は前橋でこの事業を継続しながら、アメリカのロスアルトスというシリコンバレーの街に毎週直送でチョコレートを送って販売できないかと考えています。今年そこでポップアップをやったんですが、向こうの人はみんな日本の

文化が大好きだし、テック系の人が多く、こういう物理学に基づいたチョコレートっていうのも興味を持ってもらえてとても感触が良かったので、その2拠点をまずは目指したいなって思っています。そして、最終的には「宇宙チョコレート」を、5年後くらいにやりたいなと思っています。宇宙でしか食べることができないチョコレートとか、宇宙でチョコレートを作ったら、重力がないからビュアな分子間力で、もつと綺麗なチョコレートが作れるんじゃないかって」

人が輝く瞬間を世界中に増やしていきたい

チョコレートを通してどこまでも広がっていく人の輪。そしてその夢は宇宙へと続く。探究心と行動力で世界を広げていく小林さんの原動力とは？

「私の根底には、（人が輝く瞬間を世界中に増やしていきたい）という使命があるんです。私の心が沈んでいた時に救ってくれたのがチョコレートだったんですよね。この世に生まれた瞬間の輝きを人はだんだんと失っていつてしまふけど、チョコレートを目の前にした人ってそこから解き放たれると思うんです。チョコレートにはそういう不思議な力があると思っているの、それを通して人が輝く瞬間や、その人が本来持っているエネルギーを取り戻す時間を世界に増やしていきたいと思っています」



美しい光沢と絵画のようなビジュアルで見た目にも楽しめる小林さんのチョコレート。現在は完全紹介制のオンライン販売のみで購入できる。

「この先、生きていても良いことないだろうと思うくらい世界が灰色に思えていた時でした。たまたま見た『失恋ショコラティエ』というドラマの中で、チョコレートとそれを取り巻く人々の表情とか空間がキラキラ輝いていて、一瞬で魅了されてしまいました。お菓子作りは小さい頃から祖母と母の影響でずつとやっていたんですが、チョコレートに目覚めたのはその時からですね。ドラマにも出てくる『テンパリング』という技術があつて、温度調節をしてチョコレートの分子の並びを整えていくっていう技術なんですけど、それを自分でやってみたらすごく綺麗なチョコレートが出来て」

高校生の時に文部科学省の「サイエンス・パートナーシップ・プログラム」に参加し、NASAに行った経験のある小林さん。そこで宇宙に興味を持ち、大学では物理学を専攻したという。

「チョコレートの分子構造と私が専攻していた結晶工学という領域がすごく近くて。このチョコレートの表面がツヤツヤしているのって、特に何かコーティングとかしているわけではなくて、分子の並

CASE 01

まちなかの書店をリノベーションの行き交う場所に

それぞれの場所に

宿る思いがある

前橋市の中心市街地を流れる広瀬川は、柳並木が川風に枝を揺らす風情あるスポット。その周辺地域では近年、空き物件を利用して事業を始める人が増えてきている。〈建築設計事務所レモデザインスタジオ〉代表の木暮勇斗さんもその一人。

住宅や家具設計のほかに、「喫茶マルカ」、老舗煎餅屋「清香園」など、市街地にある店舗のリノベーションも手がけてきた。

独立を考えていたある日、広瀬川沿いの元書店だった空き物件と出会った。

日頃から「空き家ってなぜ利用されないまま増え続けるんだろう？」と疑問に感じていた木暮さんは、どう活用できるか自分で実践してみようと、思い切って物件の購入を決める。

「この建物も、使われていた当時の物が置きっぱなしだったんです。それが空き家が活用されない理由



木暮勇斗さん
llemo design studio

の一つ。僕らはそれを残置物と呼んでいるんですが、残置物ごと引き取るという条件でやっと動き始めました」

書店のオーナーは、思い入れのある建物を引退後も不動産屋には売らずにいた。そんな持ち主の思いと、建物の良さを残したまま使いたいという木暮さんの思いがマッチした形だ。交渉の結果、空き家となっていた隣の住宅とともに買い上げ、住宅を事務所に、店舗も自らリノベーションして、知人から紹介された個人営業のパン屋さんに貸すことにした。事務所と店舗は目下のところ内装工事中。

「この川沿いに事務所を構えて、隣にパン屋さんが入ることで、いろんな人が出入りするような場所になるといいなと思っています」

夏には気持ちの良い風が吹き抜ける、広瀬川沿いの散歩コースが少しずつ広がっていくのが楽しみだ。

※記事中のパン屋さんはその後「はるばん」としてオープンし、現在営業中です。（令和7年4月時点）

CASE 02

空き家に残された古道具たちを物語とともに送り出す

ゲストハウスから

古材古道具屋へ

アーケード街に佇む元衣料品店の空きビルを倉庫として使い、〈古材古道具屋ひの芽〉を営む栗原大輔さん。富士見町で「赤城山古民家IRORI場ゲストハウス」の共同オーナーを務めたのち、新たにスタートした事業がこの「ひの芽」。

旧家や空き家に眠る、使われなくなった日用品や家具、解体の際に出る古材などを引き取り、オンラインやイベントで販売している。

「IRORI場は地域に人を呼び込むきっかけ作りの場だったんですが、2年間やってみて、きっかけを持った人が入る（住む）器がないと気付いたんです」

空き家問題のネックになっていた「残置物」に目を向けた栗原さんは、空き家や解体される家に置き去りにされた物を「捨てるのではなく、別の道が作れないか」と考え、IRORI場を卒業後、長野県諏訪市にある古材古道具のリサイクル

この人に聞いてみた！



栗原大輔さん
古材古道具屋 ひの芽

ショップ「リビルディングセンタージャパン」でスキルを学んだ。現在は不動産会社「TSUNAGU」と活動を共にし、空き家管理などの業務と連携して「ひの芽」を運営している。

「ひの芽」が扱うのは、一般家庭で使われていた日用品から、古い紡績機具、工業用品、大型家具など実に様々。栗原さんは、商品と金銭のやり取りだけではなく、元の持ち主がどんな人でどんなふうに使っていたかという、その品にまつわる物語を一緒に伝えることを大事にしているそうだ。

屋号の「ひの芽」が「日の目を見る」から来ているように、人目に触れず眠っている物たちを救い出し、その価値をわかってくれる人に渡す。またその活動を通して、空き家という場所が動き出す。理想的な循環の形がそこにある。

まちなかSPOT



太陽の鐘

芸術家・岡本太郎による直径約1.2m、高さ約2.4mの巨大な鐘の作品。平成30年に前橋市に寄贈され、民間団体「太陽の会」との連携事業として広瀬川河畔に設置された。

所在地：群馬県前橋市千代田町5丁目18



白井屋ホテル

一時は取り壊しの危機にあった老舗ホテルが、日本を代表する建築家・藤本壮介の設計により現代的なアートホテルとして再生。街の中心地に活気を与える話題のスポット。

所在地：群馬県前橋市本町2丁目2-15



まちなかを流れる広瀬川・馬場川の周辺エリアは、近年整備が進み、人々の憩いの場になっている。

働きやすさと、快適な暮らし。

前橋市内にはテレワークやSOHOで働く方向けの coworkingスペースが充実。空き家バンクならご希望の住まいが見つかるかも。

POINT ① FEATURE

前橋でテレワークをする4つの利点



- 1 ほとんどの地域で好みのネットワーク回線を選べる。
- 2 東京への出社も新幹線なら90分。定期的な出勤も困らない。
- 3 自然と触れ合える場所がたくさんある。
- 4 親子で遊べる公園や施設、子育て世帯への支援も充実。

テレワーク移住 増えてます /

移住支援金のテレワークタイプで移住する人が年々増加しています。移住後もテレワークと定期的な出勤などで移住前の仕事を継続しています。

移住を考えている方におすすめ



前橋市空き家バンク

空き家情報を公開し、前橋市への移住を応援しています！

【空家利活用センター】 電話：027-898-6081



Check!

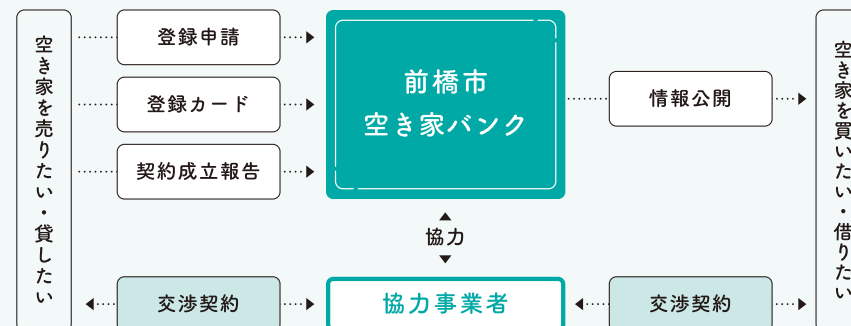
空き家バンクとは？

前橋市内の空き家の「売却」または「賃貸」を希望する所有者から、申込みを受けた情報をホームページ等で公開し、本市への定住等を目的として空き家の利用を希望する方に情報を提供する制度です。



詳細はこちら

*空き家バンクの利用イメージ



POINT ② AREA

テレワークにおすすめの地域

AREA.01

スローシティエリア

ハイキングやキャンプ、サイクリングに人気のエリア。ワーケーションにも最適。

AREA.02

中心市街地エリア

ビジネスパーソンが集まるオフィス街では新たな交流やアイデアが生まれる可能性も。

AREA.03

新前橋・総社エリア

周囲にカフェや飲食店なども充実のエリア。首都圏へのアクセスも良好。



POINT ③ SPACE

充実したコワーキングスペース！

自宅にネット環境が無い方、移住したばかりで環境が整備されていない方向けに様々なワークスタイルをサポートする市内の代表的なコワーキングスペースを紹介します。



ス

Gunma Flower Park + コワーキングスペース

群馬県前橋市柏倉町2471-7

公園内全てをコワーキングスペースに。カフェ併設のコワーキング席だけでなく、花壇の前や芝生の上など園内の中であればどこでも利用可能。※レストランを除く。

令和7年秋頃オープン予定

●電源 ●Wi-Fi (ポケットWi-Fi貸出あり) ●ポータブル電源 ●コンセント電源 ●ウォーターディスペンサー ●カフェ併設(コーヒー・紅茶・食事など) ●駐車場
<https://www.flower-park.jp/>



中

ネツゲン NETSUGEN

群馬県前橋市大手町1丁目1-1 群馬県庁32階

北関東一帯を眼下に見渡せる県庁32階にある「NETSUGEN」は、官民共創をテーマに新たなビジネスや地域づくりに挑戦したい人が集まり交流する場でもある。座席数約40席。

●電源 ●Wi-Fi ●モニター(レンタル) ●プリンター(有料) ●ミーティングテーブル(4名x1, 6名x2)
<https://netsugen.jp>



中

つとにわライブラリー

群馬県前橋市千代田町2丁目3-14

しのめ信用金庫前橋営業部ビル2階にあるライブラリースペース。1階にはコーヒースタンドがあり、コーヒースタンドに仕事や読書に活用できる。時間貸しの個室はコワーキングスペースやセミナールームとしても使え、土・日・祝日も利用できる。

●電源 ●Wi-Fi ●ライブラリー ●コーヒースタンド(有料) ●座席数 21席 ●セミナールーム(有料)
<https://www.tsudoniwa.jp/>



中

首都圏NSプラザin前橋

群馬県前橋市大手町2丁目15-8

群馬県庁や前橋市役所などが立ち並ぶ官庁街にあるコワーキングスペース。2～4㎡の各種個室ブース・ミーティングスペースがあり、時間貸し・月極契約も可。

●電源 ●Wi-Fi ●複合機(有料) ●シェアスペース ●ミーティングスペース ●電子レンジ ●冷蔵庫
<https://www.syutoken.space/>



新

ルームススタンダード

群馬県前橋市元総社町823

大型雑貨店だった建物をリノベーションしたコワーキングスペース。インテリアにこだわったお洒落な空間で、カフェスペースではスペシャルティコーヒーも楽しめる。

●電源 ●Wi-Fi ●複合機(有料) ●無料ドリンク ●個室ブース(有料) ●交流スペース ●レンタルルーム ●ホワイトボード ●モニター ●プロジェクター
<https://rooms-standard.com>



新

ホテル1-2-3 前橋マール

群馬県前橋市大友町3丁目24-1

静かな空間で集中して仕事ができるスペースと利用者同士の交流の場としてのコミュニケーション空間を併設。ホテル宿泊者以外も利用可能。

●電源 ●Wi-Fi ●談話室(無料) ●会議室(有料) ●複合機(有料) ●モニター ●無料ドリンク
<https://mercuryclub.jp>

アイコン説明

ス

スローシティエリア

中

中心市街地エリア

新

新前橋・総社エリア



プレイフォレスト
遊びの森キャンプ場

群馬県前橋市粕川町室沢

前橋市粕川町にある木の実幼稚園が教育活動の一環として運営する森の中の遊び場。広大な敷地の中には、自然の地形と樹木を利用したアスレチック施設、焚き火場やクラフトコーナーなど、親子で自然体験ができる施設が充実している。あえて禁止事項を設けず、子どもたちが自分で考え遊ぶことを促す。毎月第2・第4日曜日に開放している。



手作りのボルダリング小屋で遊ぶ千太朗くん。のびのびとした環境で、子どもたちは自分で考えながら楽しみを見つけていく。



囲炉裏小屋でくつろぐ岳彦さんの父・務さん。この山の家は、登山家でもある務さんのDIY精神の結晶ともいえる場所だ。

赤城山の
susono
で暮らす

5

島田岳彦さん家族

赤城山の南面を麓へと流れる粕川。その名前の由来は、室町時代からこの地域に伝わる伝統行事で白酒を川に流す神事にちなんだものと言われる。その粕川に沿って南北に広がるのが粕川町（旧・粕川村）。中でも中之沢地区は赤城山の腹にあり、ナチュラルチーズを製造する酪農家の「スリーブラウン」や、私設美術館である「中之沢美術館」などが点在するのどかなエリアだ。平日は前橋市内の平野部にある自宅から都心へ通い、週末はこのエリアにある別邸で過ごすという島田岳彦さん一家を訪ね、前橋駅から車を走らせること40分程。高原の別荘地の



家族で作る、
親子三代の憩いの場。

ような趣きの静かな林道を抜けたところに、島田さん一家が週末を楽しむ別邸があった。

岳彦「もともと地元が前橋なんですけど、群馬を離れて京都の大学に進学して、卒業後は川崎の会社に就職しました。その間に父がこの場所に別宅を作り始めて、『自分たちは将来的にはこっちに移住するから実家のほうに住まないか』と言われていたんです。両親の年齢的なこともあって、最終的には完全に引っ越すのではなく、両親のために実家の隣にもう一軒家を建ててそこに住むことになりました」

のクリエイティブな仕事にも影響を与えているのだろうか。
岳彦「父の影響は大きいと思いますね。高校生の時に家族でネパールに登山旅行をしたりといった経験のおかげで、都会的な生活だけに染まってきたのとは違う振幅や世界観も身に付いたと思います」

自然の中で育まれる
これからの家族のかたち

妻の恵子さんの故郷の鹿児島も桜島がシンボルだ。山を背にしたまちの姿はどこか似ている部分があるのかもしれない。

恵子「最初の頃は、前橋から見える山のどれが赤城山で、妙義山で、榛名山かって、全然覚えられなかったんですけど、訪れるうちにそれもだんだん分かるようになって。山を覚えることでちよつとずつ群馬を知っていくような感じがありましたね」

岳彦「妻も田舎育ちだったので、都会で子育てというのはお互い考えづらかった。前橋は子どもの医療費が無料ですし、幼稚園も自然派でのびのび遊ばせてくれるのは地方ならではのかな。都会だと車を持つのが難しいですし、公共空間とプライベートが近いですね。こっちは移動も車で行けるからずっとプライベートで、緊張感なくのびのび暮らせるといふのはありますね。都会にもそんなに遠くないし、適度に田舎だし、地震もそん

た。10年ほど前から、そこで平日を過ごし、週末は中之沢で過ごしています」

岳彦さんの父の務さんが20年ほど前にこの一帯の土地を購入。知り合いの業者の助けを借りて森を切り開き、家建てたという。母屋の完成後、ゲストハウス、書斎、囲炉裏小屋と、敷地内の建物は徐々に増えていった。現在では4棟の居住空間に加え、クライミングルーム、薪小屋、ガレージが建っている。

少し長めの通勤時間が
オンとオフを切り替えてくれる

岳彦「今の職場は新宿で、ゲーム制作会社でキャラクターや背景のデザインをしています。新幹線で通勤していますが、自宅からは2時間ちょっとですね。10年くらいこの通勤スタイルなのでもう慣れました。プライベートの時間が強制的に確保できるので、本を読んだり動画を見たり、ゲームを楽しんだりしています。通勤時間の長さはオンとオフを切り替えるのにかえってちょうどいいですね。それよりは、週末に広々とした田舎で暮らせるメリットのほうが大きいかなと思っています」

父・務さんは日本百名山を踏破するほどの登山好き。書斎には務さんの趣味である登山や山に関する本、登山日記などがひしめいていた。3歳から山に連れて行かれていたという経験は岳彦さん自身

なれないし、暮らすにはバランスがいいのかなと思います。それから前橋は冬の日照時間が全国平均に比べて長いんですよ。だから冬が朗らかでいい。風は強いですけどね（笑）」
恵子「幼稚園の友達家族とキャンプに行ったり、ここで友達を呼んで4〜5家族くらいで宴会するのも楽しいですね。子どもたちは川遊びを楽しんだり、ゲームをしたり」

岳彦「子どもたちは二人とも親の影響で絵を描くのが好きですね。上の子は工作したりするのも好きなので、将来はクリエイター系かな？（笑）いつも黙々と何かを作っていますね。週末はここで声を出して遊んだり、火を焚いて遊んだり、なんでも出て来ちゃうので、かなり恵まれた環境だと思います。川遊びも出来るし、雪遊びも出来る。子どもが成長してもこういう生活を好きになってほしいですね」





家族で移住

前橋は子育てしやすい街

家族での移住を考えている方や、移住後の子育て環境が気になる方へ。

前橋市には、こどもが屋外でのびのび遊べる公園や、学びながら楽しめる文化施設などが充実しています。また、子育て世帯の生活支援にも積極的に取り組んでいます。

Playground & Education

親子でお出かけ

前橋公園

- 日本庭園
- 大規模芝生ゾーン
- 群馬県型さちの池

群馬県前橋市大手町3丁目7-7

中央児童遊園 るなばあく

- もくば
- メリーゴーランド
- ひこうとう

群馬県前橋市大手町3丁目16-3

敷島公園

- 敷島公園ばら園
- 前橋市蚕糸記念館
- キャンプ場

群馬県前橋市敷島町66

前橋市 子育て ひろば

- プレイルーム
- 親子元気ルーム

群馬県前橋市本町2丁目12-1
前橋プラザ元気21内2階

前橋市 児童文化 センター

- プラネタリウム
- 宇宙教室
- キッズショップ

群馬県前橋市西片貝町5丁目8

前橋 こども 図書館

- 絵本・児童書
- おはなし会

群馬県前橋市本町2丁目12-1
前橋プラザ元気21内2階

前橋 こども公園

- ゴーカート・SL
- 大型遊具

群馬県前橋市西片貝町5丁目7

▼ 各施設の詳細はこちら



前橋の公園・遊園



子育てひろば



こども図書館



児童文化センター

前橋市の手厚いサポート 出産・子育て 支援事業

Childcare Support

▼ 詳細はこちら



-01 こども家庭センター

全ての妊産婦、子育て世帯、こども支援に対し、母子保健と児童福祉が連携・協働して、切れ目のない一体的な相談支援を行います。保健師、助産師、心理士などの専門職が、多様な相談に丁寧に対応します。お気軽に相談ください。

-04 産後ヘルパーの派遣

家事・育児の協力が得られない家庭にヘルパーが訪問し、家事・育児の支援を行います。

-08 第3子以後の幼稚園等の 保育料補助

第3子以後の幼稚園及び認可外保育施設の保育料等の一部を補助。

-05 第3子以後の 保育料等無料化

第3子以後の保育料(保育所、認定こども園)及び副食費が無料。

-09 放課後児童クラブ

放課後留守家庭の小学生児童を対象に、放課後児童クラブを市内85か所で開設(令和6年4月現在)。

Sports スポーツ施設



正田醤油スタジアム群馬

群馬県前橋市敷島町 66
ザスバ群馬ホームスタジアム

- 上毛新聞敷島球場
群馬県前橋市敷島町 66
- ヤマト市民体育館前橋
群馬県前橋市上佐鳥町 460-7

Culture 文化施設



アーツ前橋

群馬県前橋市千代田町 5 丁目 1-16 | 休館：水曜日

- 前橋文学館
群馬県前橋市千代田町 3 丁目 12-10
休館日：水曜日(祝日の場合は翌日) 年末年始ほか
- 前橋シネマハウス
群馬県前橋市千代田町 5 丁目 1-16 アーツ前橋 3 階 | 休館：火曜日

赤城南麓の味がする。



赤城の恵
AKAGI NO MEGUMI

前橋市推奨



福豚ジャーキー
HÜTTE HAYASHI

赤ワインベースの特製漬けダレが美味しさの秘密。桜のスマークが香る贅沢な大人のジャーキーです。



カチョカバロ
チーズ工房 Three Brown

薄くスライスしてそのまま食べたり、1センチほどの輪切りにしてフライパンで焼くのもおすすめ。



大島梨
木瀬果樹部会 (JA前橋市中部営農センター)
上大島町や下大島町などで江戸時代から作り続けられている、きめ細やかな肉質の甘くて大きな梨。



ぶどう
観光農園 あかぎおろし
ゴルビーやシナノスマイル、シャインマスカット、巨峰、ピオーネなど様々な品種を栽培しています。



いちご
松井ファーム
大粒で糖度が高くまろやかな酸味が特徴の群馬県育成品種「やよいひめ」を中心に栽培しています。



トマト
(株)前橋産直組合
群馬生まれの「甘しずく」は糖度7度以上のものを選別。甘味と酸味のバランスが良くコクがあります。



森そだちサーモン
(有)おおさき
赤城山大穴の湧水で育てられた淡水養殖のトラウトサーモン。身色が鮮やかで脂がしつこくないのが特長。



もち屋伝次平のもち
(有)ヤバタファーム
自社栽培のもち米を100%使用。食品添加物や保存料は一切使わず丁寧に仕上げたおもちです。



上州米味噌
(特非)麦わら屋
前橋産の大豆とお米を使った無添加の味噌。昔ながらの製法で、味噌本来の味と香りを楽しめます。

赤城の恵について

『赤城の恵』は、前橋産農林水産物やそれらを原材料に使用する加工品のうち、厳しい審査で選り抜かれた前橋市がお奨めする逸品です。

LET'S LEARN

上州弁

JOSHU-BEN

生糸を売るのも
よいじゃねえ
やな

下村善太郎

訳：生糸を売るのも
楽じゃないね。

パリもいいけど
はあ前橋に
けーるんべー

近藤嘉男

訳：パリもいいけど、もう
前橋に帰りましょう。

まあず、今年の夏は
なっから
暑かったんねえ。

葉山三千子

訳：本当に、今年の夏は
とっても暑かったですね。

私をスキーに
連れてって
くんない。

猪谷六合雄

訳：私をスキーに
連れてってください。

海はひれえな、
でっけえなあ。

井上武士

訳：海は広いな、大きいな。

住むには前橋が
いいあんべえ
なんさ。

萩原朔太郎

訳：住むには前橋が
ちょうどいいんだよね。

そろそろ
行ってみる
かね

小淵志ち

訳：そろそろ帰ろうと思います。

ブルーベリー
食べりい。

船津伝次平

訳：ブルーベリーを食べなさい。

○前橋市ゆかりの著名人たち

萩原朔太郎（はぎわら・さくたろう）
1886年、前橋市北曲輪町（現・千代田町一丁目）に開業医の長男として生まれる。従来、詩の概念を打ち破る口語自由詩によりその地位を確立。代表作に詩集『月に吠える』『青猫』『純情小曲集』など。

下村善太郎（しもむら・ぜんたろう）
1827年、前橋市の商家の息子として生まれる。横浜開港を契機に生糸商として成功を収め、前橋城再建や小学校の建設に多額の寄付を行うなど、近代前橋の発展に貢献。1892年、市制施行に伴い初代前橋市長となる。

近藤嘉男（こんどう・よしお）
1915年前橋市出身の画家。終戦後、自邸（現・広瀬川美術館）に子供向けの絵画教室「ラ・ボンヌ」を開く。1964年に一般人の海外渡航が自由化されると、いち早く諸外国を巡り、多くの作品を残した。

葉山三千子（はやま・みちこ）
本名・和嶋せい。1902年前橋市生まれ。15歳の時、姉の千代が作家の谷崎潤一郎と結婚したのを機に谷崎家に引き取られ、『痴人の愛』のヒロイン（ナオミ）のモデルとなる。その後、映画女優として活躍。

小淵志ち（おぶち・しち）
1847年石井村（現・前橋市富士見町石井）に生まれ、若くして座繰り製糸の技術を身に付ける。現在の愛知県豊橋市に製糸技術を伝え、くず爾から生糸を紡ぎ出すことに成功。三河地方の製糸業の発展に寄与した。

船津伝次平（ふなつ・でんじへい）
上野国原之郷（現在の前橋市富士見町原之郷）の名主を務めながら農業技術の改良に取り組み、西洋の手法も取り入れた「船津農法」を考案。近代の農業技術の発展に貢献した「明治の三老農」の一人。

井上武士（いのうえ・たけし）
1894年前橋市生まれの作曲家。「うみ」「チュリッブ」など、馴染みのある童謡・唱歌の数々を手掛けた。洗足音楽短期大学、東洋音楽大（現東京音楽大）などで教鞭を取り、日本教育音楽協会会長などの要職を務めた。

猪谷六合雄（いが・くにお）
1890年、赤城山の猪谷旅館の長男として生まれる。スキーが日本で広まる以前の大正時代にその魅力に取り憑かれ、様々な道具を自作。赤城山で日本初の国際ジャンプ大会を開くなど、日本スキー界の草分け的存在。

認証基準

- 生鮮食品は前橋産、加工品は主原料を前橋産とし、原則として前橋市内で加工
- 安全・安心な産品
- 前橋市のイメージアップやPRに資する個性・特長
- 生産体制及び販売場所が確立しており、持続的又は定期的に供給可能
- 前橋市内で流通・販売
- 生産・製造・加工及び販売において法令等を遵守



赤城の恵
CHANNEL

お問い合わせ先

赤城の恵ブランド
推進協議会 事務局
TEL: 027-898-5841



相談窓口

移住相談

東京都

前橋市内

前橋移住コンシェルジュ

電 話：080-6601-6569
メー ル：ijumaebashi@gmail.com

ぐんま暮らし支援センター

場 所：東京都千代田区有楽町 2-10-1
東京交通会館 8F ふるさと回帰支援センター内
営業時間：10:00～18:00（火～日曜日）
※都合により変更となる場合もございます。
※ふるさと回帰支援センターの定休日は
月曜日、祝日、夏季休暇、年末年始です。
電 話：080-8870-2756（移住）
03-6256-0440（就職）
メー ル：gunma@furusatokaiki.net

就職相談

ハローワーク前橋（就職支援）

場 所：群馬県前橋市天川大島町 130-1
営業時間：月・水曜日 8:30～19:00
火・木・金曜日 8:30～17:15
電 話：027-290-2111
※平日 17:15 以降は、職業相談・職業紹介・求人情報の提供のみとなります。
※土・日・祝日及び年末年始は閉庁となります。

ジョブセンターまえばし

若者・子育て中の方をメインターゲットにした就職支援施設
場 所：群馬県前橋市大渡町 2 丁目 3-15
休館日：土・日・祝日及び年末年始
総合的就職支援窓口：9:00～17:00（電話：027-289-4634）
ハローワーク窓口：9:00～17:00（電話：027-256-9321）
講座・施設利用窓口：9:00～21:00（電話：027-252-0500）
メー ル：contact@jobcenter-maebashi.com

移住で受けられる支援例

4 人家族（両親＋子 2 人）の場合

補助・支援メニュー
チャレンジ前橋



CASE 1

前橋市の空き家を改修し移住

最大 **500 万円** の助成

移住支援金
300 万円
基本額：100 万円
子ども加算分：200 万円（※1）
＋
空き家対策支援
100 万円
基本額：50 万円
各種加算分：50 万円（※2）
＋
木造住宅耐震改修費補助
100 万円
工事費用の 4/5 まで補助
（上限 100 万円）

CASE 2

前橋市の空き家を改修し移住 ＋ まちなかで開業

最大 **800 万円** の助成

CASE 1
最大 **500 万円**

まちなか開業支援補助
100 万円（※3）
＋
群馬県起業支援金
200 万円（※4）
対象経費の 1/2 以内
対象経費の 1/2 以内
（上限 200 万円）

※1 子ども一人につき 100 万円の加算
※2 子育て世帯支援加算（中学校修了前の子あり）10 万円
居住誘導区域加算 30 万円
転入加算（転入者 1 人につき）10 万円
（上限 50 万円）

※3 金額は開業場所や営業形態で異なります
※4 群馬県からの助成金

前橋市の魅力を
SNSでも発信中！



X



Instagram

前橋市で「ちょっとよく暮らす」
ライフスタイルマガジン

SLOPE

【スロウプ】

発行日：令和 7 年 4 月 1 日
発 行：前橋市 未来創造部 広報ブランド戦略課
〒371-8601 群馬県前橋市大手町 2 丁目 12-1
TEL: 027-898-6971

はじめる、まえばし生活。 移住への 5 つのステップ



1

移住の目的を明確にしよう

移住をするということは、現状の暮らし方を変えるということ。
なぜあなたが移住をしたいのか、考えを整理して目的を明確にしましょう。
移住することで実現させたい理想の移住生活像が必ずあるはずです。

2

移住候補地の情報を集める

思い描いているイメージに合った地域を見つけるために、
候補地の情報を集めてみましょう。
希望に沿った地域を具体的に絞り込んでいくことが大切です。



3

まずは前橋市を訪れてみる

思い描いているイメージが、現地の雰囲気とマッチングするかを確認しましょう。
「いざ移住してみたら、なんか違った」を防止することが大切です。
観光で訪れるだけでも暮らしのイメージが深まります。



4

どこに住む？どんな仕事をする？

農業や自然を満喫したい人は赤城南麓に。
都内通勤などを検討している人は市街地に。
ライフスタイルに合わせた理想の居住地を探しましょう。
前橋市内で仕事をするのか、前橋に住みながら市外・県外で働きたいのかを
決めていきましょう。



5

あなたの夢の実現へ

移住することで叶えたかったあなたの理想を実現させていきましょう。
補助・支援制度などを上手に活用しましょう。
地域住民との交流も積極的に。
移住コンシェルジュが移住後のアフターフォローも行います。



移住・定住総合サイト





"cittaslow" MAEBASHI